

先日、福井新聞に本校の授業の様子が取り上げられていました。

「あわら考幸学」というテーマで取り組んでいる活動です。中学校では1年生で50時間、2・3年生で70時間（1週間に2時間）、総合的な学習の時間が設定されています。この授業は、教科書はなく、生徒自らがテーマを決め、それについて調べたり、討論を行ったりして、一つの結論を導き出す活動です。高校では「探究」とか「課題研究」とか言われています。

今までもこの時間においては、ふるさとの自然や歴史を調べたり、SDGsを考えたりしてきました。ただ1年から3年生までの内容に一貫性がなく、せっかくの学習が大きな結論としてまとめられていなかったことが反省となっていました。

そこで本年度からは「あわら考幸学」というテーマを掲げ、将来のあわら市のため、あわら市民の幸福のために、金津中学校の生徒たちは何ができるかを考えることとしました。中学校として一つのテーマにした結果、新聞でも紹介されたように、1年生から3年生が3～4人グループになり、討論し合う活動も行うことができます。3年生は上級生として後輩たちにアドバイスをしたり、1年生はこれからどんな内容を調べたらいいのかを上級生に聞いたりしていました。

それぞれの学年が、この後どのように結論をまとめるか楽しみです。来年の2月には、学習した結果を発表するフォーラムを計画しています。その際には改めてご案内いたします。

前回にも書きましたが、これからの社会は多様な価値観を認めたくうえで、議論し合い新たな価値を創造することが重要になります。そこで大事になってくるのがコミュニケーション力（説明する力・聞く力・認め合う力）です。この能力は経験すればするほど高まってくるものです。金津中学校では、今回のような議論しあう活動を積極的に取り入れた活動を展開していきます。この様子はいろいろな機会を捉え発信していきます。ご支援をお願いいたします。

